

特別国民体育大会冬季大会スキ一競技会

我らかく戦う

期 日 令和5年2月17日（金）～20日（月）

会 場 岩手県八幡平市

公益財団法人 北海道スポーツ協会

競技名	種別	評価	予想順位・得点	戦いの展望	有望選手・チーム	特記事項
ジャイアントスラローム	全種別	5	個人1位	今大会は全組で優勝出来る選手が揃っているため、完全優勝を目指す。	成年男子A/佐藤 竜馬 (ブレイン倶) 成年男子B/新 賢範 (ブレイン倶) 成年男子C/武田 竜 (ブレイン倶) 少年男子/直江 優作 (小樽双葉高等学校) 成年女子A/畠中 悠生乃 (日本体育大学(札幌第一高等学校))	全組別での優勝を目指す。
スペシャルジャンプ	全種別	5	個人1位・2位	北海道のスキージャンプについては、当然上位に食い込み、全てのカテゴリーで優勝をするものと考えておりますが、今大会には国体初出場となる葛西紀明選手 (倶土屋ホーム) がおり、参加選手としての話題性も高く、会場が盛り上がるのではないかと思います。	成年男子A/岩佐 勇研 (東京美装興業倶) 成年男子B/栃本 翔平 (雪印メグミルクスキー部) 少年男子/坂野 旭飛 (北海道下川商業高等学校)	国体初出場の葛西紀明 (倶土屋ホーム) 国体予選が終了して、周りからは国体には行かないのではないかとと言う話も出ておりましたが、本人から国体には出場しますとの回答があり、北海道選手団として活躍を期待します。
ノルディックコンバインド	全種別	4	個人1~8位	前半ジャンプはジャンプ台が小さく、前半飛距離差が余り出ない、また風の当たり外れが大きくなると予想される。前半でトップ選手からあまり離されないで後半CCIにつなげることができれば入賞を確保できると予想します。	成年男子A/千葉 大輝 (日本大学(札幌日本大学高等学校)) 少年男子/森 恢晟 (東海大学付属札幌高等学校)	成年男子A/千葉 大輝 (日本大学(札幌日本大学高等学校)) 昨年度インターハイ2位、国体2位、JOCジュニアオリンピック1位、高校選抜1位 少年男子/森 恢晟 (東海大学付属札幌高等学校) 昨年度国体3位、JOCジュニアオリンピック2位
クロスカントリー	全種別	4	個人1~7位	各組で層が厚く、少年組から成年Cまで満遍なく得点の獲得を目指す。特に少年男子、女子及び成年男子Aについては、複数の選手が表彰台・入賞の可能性が高い。少年リレーにおいては優勝を目指す。女子リレーも選手が揃っており、優勝争いが期待できる。この度の国体会場は変化に富んだコースで競技者には走法テクニックを求められ、後半の1.5kmから緩やかな下りがあり、これまでの国体・インターハイでも大きな逆転劇があった。ワックスマンにはワックステクニックを求められ、選手とコーチが一体となり細かな戦略を求められる大会になる。スタッフは細心の注意を払い選手をサポートして行きますが、選手でしか分からないWaxに対する足元の感覚をコーチにどう伝えることができるかが勝敗を分ける。国体の独特の雰囲気を楽しみながらも、北海道の代表選手として大きく飛躍してくれることを期待します。	成年男子A/大田喜 日向 (自衛隊体育学校) 成年男子A/松村 亜斗夢 (北海道旅客鉄道倶) 成年男子B/児玉 宗史 (北海道旅客鉄道倶) 成年男子C/成田 大助 (陸上自衛隊上富良野駐屯地第2戦車連隊) 成年男子C/中島 徹也 (陸上自衛隊名寄駐屯地第3即応機動連隊) 少年男子/神 幸太郎 (北海道留萌高等学校) 少年男子/小上 楓真 (北海道恵庭南高等学校) 成年女子A/栃谷 天寧 (日本大学(北海道おといねっが美術工芸高等学校)) 成年女子A/栃谷 和 (日本大学(北海道おといねっが美術工芸高等学校)) 少年女子/岩佐 奏葉 (北海道留萌高等学校) 少年女子/小池 梓 (北海道富良野高等学校)	少年男子/神 幸太郎 (北海道留萌高等学校) 昨年全国高校フリー競技優勝 少年男子/小上 楓真 (北海道恵庭南高等学校) 昨年全国高校クラシカル競技優勝 少年女子/小池 梓 (北海道富良野高等学校) 昨年全国高校クラシカル3位 少年女子/岩佐 奏葉 (北海道留萌高等学校) 昨年全国高校クラシカル8位 少年男子の神 幸太郎 (北海道留萌高等学校) と小上 楓真 (北海道恵庭南高等学校) は小さい時から後志管内でスキーを続け、同学年で常に良きライバルとして戦ってきた。今後の進路もまた別々の道に進みますが、良きライバルとして2030年の五輪に2人共に立って欲しいと思います。